

# 登山月報



チョング・クムダン氷河



**8月11日** みんなで山を考えよう!  
 祝「山の日」  
 全国「山の日」協議会  
 山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する

第16回ボルダリングジャパンカップ (BJC 2021) 開催	2
第146回 Mountain World	6
<b>新連載</b> Enjoy Climbing	7
令和2年度後期海外登山奨励金交付登山隊	8
中期経営計画策定パブリックオピニオン	10
2021年度公認審判員およびルートセッター資格の 登録更新に関する特別措置について	12
CLIMB FOR TOMORROW 2020	12
スポーツライミング競技会スケジュール	12
JMSCA、寄贈図書、表紙のことば、編集後記	12



# 第16回ボルダリングジャパンカップ (BJC2021) 開催

## Report 1 競技

今回のBJCはいろいろな波乱が起きた大会であった。準決勝で野口啓代(7位)が決勝への進出を逃す。その決勝では、男女共に準決勝6位の選手が優勝。

女子決勝では、第1課題、森からスタートし、2トライで完登。続いて中村、伊藤、野中が完登。トップクラスが順調な滑り出し。続いて第2課題を野中が1撃完登し、このまま優勝かと思われたが、第3課題は森のみの完登で逆転。そして第4課題で森が一撃し、4完登で優勝を勝ち取った。

男子決勝では、第1課題、第2課題、第3課題が終わり藤井、檜崎、緒方の3人が3完登で並ぶ。藤井がアテンプト数で一歩リード。そして、第4課題を藤井が一撃で完登し、優勝を決めた。藤井は、第1課題トライ中に、着地で左膝を負傷(捻る)。応急手当後、トライを再開し完登。その後も少し足を引きずる様子もあったが、全課題を完登した。3課題、4課題目を1撃で完登し檜崎を振り切った。

森は初優勝。藤井は3年ぶり4度目の優勝。森は1

Result 女子					
順位	氏名	成績	ナンバー	所属	準決勝
1	森秋彩	4T4Z,13/13	W005	茨城県山岳連盟	6
2	野中生萌	2T4Z,3/11	W003	XFLAG	1
3	伊藤ふたば	1T3Z,1/8	W002	TEAM au	2
4	中村真緒	1T3Z,5/4	W004	青山学院大学	3
5	谷井菜月	1T2Z,2/4	W006	榎原学院高等学校	5
6	石井未来	0T1Z,-/1	W013	愛知県山岳連盟	4

Result 男子					
順位	氏名	成績	ナンバー	所属	準決勝
1	藤井快	4T4Z,6/5	M002	TEAM au	6
2	檜崎智亜	4T4Z,9/7	M001	TEAM au	3
3	緒方良行	4T4Z,12/10	M003	-	4
4	天笠颯太	2T2Z,7/5	M016	日本大学	1
5	石松大晟	0T2Z,--	M007	Base Camp	2
6	原田海	0T2Z,--	M005	日新火災	5

か月前のCJCのリードでスリップする失敗があったが修正してきた。今回いろいろ選択肢のある課題で迷うこともあったが、上手くこなしていた。藤井は、CJCに続き優勝と好調ぶりを感じた。

**M3**  
第3課題、上部の黄色いホールドにダブルダイノマンリングで抜け、左足に荷重トップに伸び上がるムーブ。藤井が一撃完登。檜崎、緒方、天笠も完登。



緒方良行

**M4**  
第4課題は強傾斜にトリッキーだがムーブがいくつかある感じのルート。ここを藤井が一撃完登。檜崎、緒方も完登するが、アテンプト差で藤井の優勝が決まる。



檜崎智亜

**M1**  
第1課題は、ジャンプし上下に手足を伸ばして止めるスタート。そこからトリッキーに右上するルート。藤井、檜崎が2トライ、緒方が4トライで完登。藤井は、落下の着地で失敗。左足を負傷する。



藤井快

**M2**  
第2課題は、緩傾斜の課題。藤井、檜崎、緒方、天笠が完登。



**決勝ルート/完登者 \*一撃完登**

**W4**



森 秋彩\*  
谷井 菜月

**M3**



藤井 快\*  
檜崎 智亜  
緒方 良行\*  
天笠 颯太

**W1**



森 秋彩  
野中 生萌

**W2**



森 秋彩\*  
野中 生萌\*

**M4**



藤井 快\*  
檜崎 智亜  
緒方 良行

**M1**



藤井 快  
檜崎 智亜  
緒方 良行

**W3**



森 秋彩

**M2**



藤井 快  
檜崎 智亜  
緒方 良行  
天笠 颯太

**W4**  
スタート後、ループを抜け出したところからトリッキーなムーブの課題。足の置き方が肝。そこを森が1撃完登。続いて谷井も2トライで完登。逆に優勝候補の野中、伊藤が失敗。森の優勝が決まる。

**W1**  
準決勝6位の森からスタート。森、中村、伊藤、野中が完登。伊藤が1撃完登で1位発進。

**W2**  
第2課題は強い傾斜の中、上部の横向きハリボテからトップに抜け出るところが核心。そのムーブに迷いながらも森が2トライで完登。そして野中は迷わずバナーを活かして一撃完登。

**W3**  
第3課題、森はスタートから黒のホールドまで手間取ったが、6トライ目にそのホールドを保持。その後はZ ONE、トップまでバランスシーなムーブを難なくクリアし完登。他の選手が失敗するなか唯一の完登で1位に躍り出る。



伊藤ふたば



野中生萌



森秋彩

## Report 2 運営

第16回ボルダリングジャパンカップは、1月7日、1都3県に緊急事態宣言が発出されましたが、無観客、3密防止など今までの対策に大会前のPCR検査、会場の換気管理(CO2管理)などを加え、できる限りの対策を徹底し1月30日-31日に開催しました。

緊急事態での開催については、反対の意見もありましたが、このコロナ禍で行うことが、スポーツの意義を含め次につながる考え方、行動が生まれる機会として開催しました。大会の準備から感じたことは、この大会に携わるすべての方の「支える」という思いでした。また、無観客での開催が続いていますが、放送での観戦体験向上への取り組みもプラスに転じ、今までにない視聴がありました。無観客で良かった大会ができたと感じています。ここまでできたことは、開催に理解と協力頂いた開催地、施設、東京都山岳連盟、そして選手、選手関係者、スタッフ、協力会社、協賛各社、放送関係者のおかげとっております。改めてここに感謝申し上げます。

期 日：2021年01月30日(予選) - 31日(準決・決勝)  
 会 場：駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場  
 観 戦：無観客、ライブ放送(YouTube、スカイA)  
 選 手：男子52人、女子40人

### 2-1 入場数、エリア分類、新型コロナ検査の実施

入場数/ゾーンコントロール/COVID-19検査

	30日(人)	31日(人)	入場エリア	検査
選手女子	40	20	FOP/BOH/FOH	PCR
選手男子	52	20	FOP/BOH/FOH	PCR
選手(miss cut)		17	FOH	PCR
トレーナー	6	4	FOP/BOH/FOH	PCR
同行者	29	15	FOH	PCR/抗原
スタッフ	75	78	FOP/BOH/FOH	PCR
メディア	43	52	FOH	PCR/抗原
ライツ・業者	41	54	BOH/FOH	PCR/抗原
来賓・JMSCA	7	12	FOH	PCR
	293	272		

### 2-2 Media 露出 件数

	1月29日	1月30日	1月31日	2月1日
Web	10	20	46	
新聞		4	10	
テレビ		4	7	6

テレビ番組例 → NHKサタデースポーツ EXサンデーLIVE NTVおはよん  
 NTV GOING! NHKサンデースポーツ NTV ZIP  
 TXスポーツウォッチャー NTV GOING! TBSあさチャン!  
 CX S-PARK TBS S-1 EXグッド! モーニング  
 TXスポーツウォッチャー NTVスッキリ  
 CX NEWS イット  
 CX S-PARK

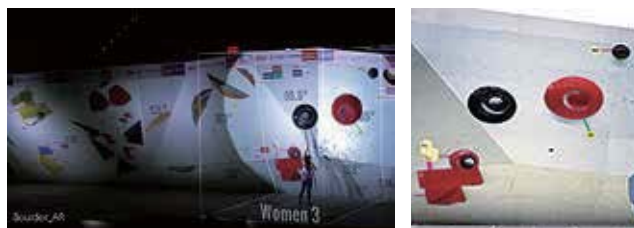
## 2-3 放送

今回は当初、会場観戦を検討してきましたが、緊急事態宣言が発出され無観客に切り替え。放送での観戦体験の充実に力を入れる。結果、ライブでの最高視聴4470件(300%up)を記録。今後もこのスタイルでステークホルダーの満足向上に取り組んでいきたいと考えます。

Youtube	予選	準決勝	決勝
	2226	3692	4770

映像ならではの体験(CG、3D、YouTubeチャットなど)

### ▶CG-3D



### ▶CG-選手紹介



### ▶チャット



52名参加  
(海外3名)

### 2-4

会場二酸化炭素量

平均 540ppm

最大 2150ppm (アイソレーション 予選)

## 2-5 BJC 2021スタッフコメント選手管理

片山健太 (和歌山県山岳連盟)

2度目の緊急事態宣言が発令された東京都において開催されたBJC 2021。

コロナウイルス感染症拡大の状況から運営スタッフとして参加する事に対して悩みましたが家族や職場の理解も得て参加を決意しました。

参加者全ての方に事前PCR検査の実施など、LJC 2020から始まった大会に参加する全ての人が安全・安心に参加出来るコロナウイルス感染拡大予防に万全を期した大会運営、今回の任務は、華やかな大会の裏側にある100人近い選手が入るアイソレーションゾーンに競技前選手が待機するコールゾーンの管理でした。

アイソレーションゾーンには2m角の選手待機エリアを参加人数分作成し、コールゾーンにはソーシャルディスタンス確保した待機エリアを作成しました。



今後も大会運営ではこのような広いエリアが要求されます。

選手にはウォームアップ時以外はマスクの着用、待機椅子着席時にはタオルを使用、待機時は出来るだけ密の回避を指示、いろんな部分に置かれたアルコール消毒液、スタッフは不織布マスクにフェイスガード着用、荷物を触る際は手袋着用と、いままでの大会とは全く違うスタイルでの管理でした。今後もコロナウイルス感染症拡大予防対策を期した大会が運営の基本となるでしょう。

緊急事態宣言下にある東京都で開催された大会が無事開催・終了した事に対して嬉しい気持ちと感謝の気持ちでいっぱいです。

## 2-6 感染防止対策(消毒)



## 2-7 セレモニー



## 2-8. 映像

大会PVを作成。下記QRからご覧ください。



<https://youtu.be/oG7ptefsFPQ>

## 2-9. その他



昨年開催のBJC 2020 マスクの着用

(大会実行委員長 村岡正己)

## 第16回ボルダリングジャパンカップの開催について

本協会では、昨年の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、各種講習会・研修会及び競技大会を自粛してまいりました。

其の後、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、8月の第34回リードジャパンカップから競技大会を再開しました。再開にあたりましては、スポーツ庁、(公財)日本スポーツ協会(J S P O)、(公財)日本オリンピック委員会(J O C)等から提示のあったコロナ禍でのイベント開催ガイドラインを遵守し、かつより厳しい本協会独自のガイドラインも定め、それらに則って、第8回リードユース日本選手権(10月)、第6回ボルダリングユース日本選手権(11月)、第3回コンバインドジャパンカップ(12月)も順次開催し運営してまいりました。厳しい感染防止対策の結果、これらの競技大会では感染者をだすことなく成功裡に終了しました。

これらの経験を踏まえて第16回ボルダリングジャパンカップの準備を進めていたところ令和3年1月7日に政府から緊急事態宣言が発出されました。その直後にスポーツ庁、J S P O等から緊急事態宣言下でのイベント事業に関するガイドラインが提示されました。

B J C大会実行委員会では、これらのガイドラインを基に東京都、世田谷区、競技施設と協議した結果、以下の条件での開催が了承されました。

- ①感染防止対策の徹底(マスク、消毒、検温、ソーシャルディスタンス)
- ②緊急事態宣言下のイベント開催条件の対応(観戦50%、午後8時終了等)
- ③健康チェック(健康アプリ等による体調管理(2週間前)、抗原検査(前日))
- ④会場の換気管理

これらの条件についてB J C大会実行委員会では、以下の対応を取ることにしました。

①は、これまでの4大会開催での実績を基に徹底する。

②は、無観客としました。

③は、選手、帯同者、メディア、スタッフ等全員に健康アプリMetellでの体調管理(大会前2週間、大会後2週間)とP C R検査又は抗原検査を義務づけました。

④は、開催中、会場の二酸化炭素測定を行い600 p p m以下(屋外に近い状況)に保つことにしました。

次に他の競技団体等の対応も参考にして検討しました。今回は、プロ・アマスポーツとも昨年4月の緊急事態宣言発出下とは状況が違っており、サッカー、ラグビー、バスケットボール、水泳、陸上、大相撲等多くのスポーツ競技が開催されている中、卓球全日本選手権が無観客とは言え、選手900名、帯同者2,000名の規模で開催されました。コンタクトスポーツとは言え、屋内競技でこれだけの大会が開催されたことは、スポーツ関連団体として驚きであり、競技会開催の後押しとなりました。

第16回ボルダリングジャパンカップの出場資格保有者は、男子54名、女子43名です。1月11日から17日までのエントリー期間中に、未エントリーは男子が3名、女子1名でした。何れもロールダウンで1月19日には、定員に達しました。選手の大会への意気込みと熱い思いが伝わってきました。

ボルダリングジャパンカップは、翌年度の日本代表選手の選考大会として例年1月～2月にかけて開催してきました。4月からI F S Cワールドカップが始まるためにどうしてもこの時期の開催になっております。今回延期にしますと、2021年度の代表選手選考に支障をきたし、I F S Cワールドカップ2021年シリーズに間に合わなくなります。

また、J O C等からは、安易に開催を中止にするのではなく、万全の対策を講じて選手・スタッフの安心・安全を担保しながら選手のパフォーマンスを発揮する場を確保し、機運醸成に協力して頂きたい、とも言われております。

これらのことから、第16回ボルダリングジャパンカップ開催につき、1月14日の理事会に諮りました結果、賛成多数で可決され、開催する運びとなりました。

BJC2021 感染確認検査 ガイドライン

	ゾーン	準備	大会	撤収
		PCR/抗原	PCR	PCR/抗原
業者(設営、他)		PCR/抗原		
業者(運営、放送、他)	FOH		PCR	
スタッフ(セッター)	FOP/BOH/FOH		PCR	
スタッフ(運営、競技、JMCA事務局)	FOP/BOH/FOH		PCR	
選手・トレーナー	FOP/BOH/FOH		PCR	
メディア	FOH		PCR/抗原	
同行者	FOH		PCR/抗原	
VIP、来賓	FOH		PCR/抗原	

## K2冬季初登頂成る 後続の公募隊では遭難も

池田常道

1月号の本欄は休載させていただきました。冬季K2の頂上攻撃が最終段階に入っているなか、結果が判明しないうちに締め切り日を迎えてしまったためです。ネパール3隊から10人が頂上を陥れたのは、その直後、現地時間1月16日の夕刻5時でした。すでにネット情報でご承知の方もたと存じますが、ここにお詫び申し上げるとともに、5人が亡くなったその後の遭難事件をまとめて報告することにいたします。

＊

これまで何度も取り上げてきたように、K2(8611m)は、冬季未踏で残る唯一の8000m峰として俄然注目を集めるようになった。冬季登山の常連だったポーランド隊が一昨年、3回目の攻撃に失敗したのを見て、昨年と今年は新たな勢力がこの山に目を付けた。

現在の8000m登山シーンで「初」を名乗れるテーマは冬季登頂しかないわけで、一昨年、ネパールのミンマ・ギャルジェが率いるイマジン・ネパール公募隊がまず狙った。ポーランド勢やデニス・ウルブコが挑戦を見送った間隙を突いたかたちだった。

しかし、昨年2月号に書いたとおり、8人のうちシェルパを除くメンバーが公募隊クライアントとしてK2を経験しただけ。冬の南東稜には歯が立たず、2月5日にヘリで退去してしまった。

ミンマ・ギャルジェは今回、実力の知れたシェルパ2人とトリオを組んで必勝を期し、チャン・ダワ・シェルパのセブンサミット・トレックスが総勢55人の公募隊を引き受けた。そのなかにはセルヒ・ミンゴテ(スペイン)、タマラ・ルンガー(イタリア女性)らがあり、前年失敗したジョン・スノーリ(アイスランド)がパキスタンのムハンマド・アリ・サドパラ(ナンガ・パルバット冬季初登頂者)とその息子サジードと組んだトリオもいた。また、一昨年8000m峰14座を7か月で制したニルマル・プルジャ(ネパール)も、子飼いのシェルパを引き連れて戦列に加わった。

3つのネパール隊は協力して南東稜にルートを開き、1月12日には7300mに到達。15日には7800mのC4地点に達し、冬季最高地点を記録した。最終キャンプにはさらに7人のシェルパが入って10人となり、

16日午前1時、一斉に頂上攻撃を敢行した。一行はボトルネックを90分で抜け、頂上手前10mで後続を待ってから、夕方5時、意気揚々とネパール国歌を歌いながら8611mの最高点を踏みしめたという。

頂上に立ったのは無酸素のニルマル・プルジャ(ニムス)とその配下ミンマ・デヴィッド、ミンマ・テンジ、ゲルジェン、ペム・チリ、ダワ・テンバ、ミンマ・ギャルジェとダワ・テンジ、キル・ペンバ、それにセブンサミット隊のソナ。プルジャだけがマガル族で、他はすべてシェルパである。

＊

これまで冬のK2で、これほど早く頂上攻撃に漕ぎつけた例はなかった。順応能力にすぐれたシェルパたちが一致協力してルートを切り開いたことと合わせ、風が弱まって好天に恵まれたこともあっただろう。

しかし、その後は、無事に済んだわけではなかった。登頂成功の当日、まだルート下部で順応行動していたセルヒ・ミンゴテ(49)がC1下を下降中に転落死。2月4日C3(7300m)に着いたものの、翌日、頂上をあきらめてから下ろうとしていたアタナス・スカトフ(ブルガリア、42)も、固定ロープの継ぎ目でクリップに失敗したらしく、転落死した。

ジョン・スノーリとサドパラ父子、フアン・パブロ・モールの4人は雪に埋まった固定ロープに苦勞しながらC3に入り、2月5日夜(11時～12時)には頂上攻撃に漕ぎつけた。ボトルネックで酸素が尽きた息子サジード(22)は引き返し、スノーリ(47)とアリ・サドパラ(46)、無酸素のモール(33)が先へ進んだ。しかし、3人はC3で待つサジードのところまで戻らず、行方不明。搜索のヘリは限界の7800mまで飛んだが、2月7日現在なにも見つかっていない。



BCで凱歌を挙げる一行 ミンマ・ギャルジェ撮影

## 増本亮&さやかの Never Ending Journey ③

バガブーズは最高に素晴らしいところだったけれど、降雪後に登ったオール・アロング・ザ・ウォッチタワーは気温も低く、岩登りと雪山のミックスのような感じで緊張感のあるクライミングが体にこたえた。寒い中きついクライミングシューズを履き続けていたおかげで、下山後しばらくの間足先も痺れたままだった。

暖かいところへ行きたい！そろそろ南へ向かう時期だ！私たちは2ヶ月間過ごしたカナダに別れを告げ、アメリカに入った。南下していくにつれてどんどん威力を増す太陽は、何よりも求めていたもの。さんさんと降り注ぐ太陽の光にパワーをもらおうと、自然とモチベーションが湧いてきた。オレゴン州に入った私たちはスミスロックに向かい、半袖になって数日スポーツクライミングを楽しみ、次なる目的地ニードルズへと向った。

神秘的な場所、それが私のニードルズに対するイメージだった。きちんとしたトポも出ておらず、場所も人里離れた山の中。だからと言ってマイナーな岩場という訳ではなく、「岩質は硬くて最高」「クラックは美しくルート内容も素晴らしい」と多くのクライマーが絶賛する。初めての場所に行くのはいつもワクワクするものだけれど、特別な場所に向かっているようでどんどんと胸が高鳴っていった。

夫にとってニードルズはこの旅の中で絶対に登りたいルートがある場所。ロマンティック・ウォリアーという、この岩場を代表するマルチピッチルートだ。夫は杉野保さんの記録でこのルートと出会った。そして、このルートをオンサイトフリーソロしたクライマー、マイケル・リアドンの存在を知り、夫はこのルートに釘付けになった。世の中にこんなクライマーがいるということに全身を電気が貫くような衝撃を受けた、と夫。そして、死ぬ気でオンサイトを狙っていく、という決意が生まれた。

ニードルズはカリフォルニア州にあり、ヨセミテの南に位置する。町から急な峠道を延々と走ると、セコイアの巨木に囲まれた登山口によくたどり着く。整備されたキャンプ場ではないが、ここで泊まるのが認められている。水場はなく、小さなトイレが一つあ



「ロマンティック・ウォリアー4p目の美しいクラックを登る増本亮」

るだけ。町から離れているだけでなく、片道1時間半というアプローチの長さも気軽に登りに行ける距離とは言えないのだろう。クライマーもちらほらしかない。穏やかでとても静かだった。巨木の下での原始的な暮らしを私たちはいっぺんに気に入ってしまった。

森を抜け、景色の良いアプローチをこなすと、グレーの岩肌に蛍光色の黄色が鮮やかな岩が目飛び込んできた。ニードルズはいくつか岩峰群がありショートルートもあるが、数ピッチのマルチピッチルートが多い。数日間はクラシカルなルートを登り、岩と標高に体を慣らした。噂通りの岩質。極めて緻密でこれ以上ない花崗岩に感嘆した。

いよいよロマンティック・ウォリアーにトライする日が訪れた。夫はいつも通り落ち着いていた。でも内に秘めた気合いがひしひしと感じられた。大事なトライを前に、私の方がいつも緊張してしまう。天気は快晴で言うことなし。最高の一日になりますようにと願いつつ、日課となったアプローチをこなした。

ロマンティック・ウォリアーは、最高グレード5.12b、7pのルートである。日陰はほどよく冷えており、コンディションは申し分ないと感じる。3pまではちょうどいいアップとなり、夫はよどみなく登り、これらをこなしていった。さあ、ここからが本番だ。12a、12a、5.8、12b、11dと息つく間もなく核心部が続く。数字だけ見れば、私でもトライできちゃうかな？なんて考えてしまったけれど、最初の12aを前にして気が引き締まる思いがした。コーナーに走る一本の細かいクラック。ひと目見ただけで、気の抜けない絶妙なクライミングが要求されるのがわかるのだが…。それ以上に、ああ、なんて美しいクラックなんだろう。この1pを知るだけでも、ロマンティック・ウォリアーがクラッククライマーにとって登る価値のあるルートだと思い知らされた。

クラックは細くて指が入る場所は限られており、左右の壁ははっきりした凹凸があるようには見えない。終始デリケートな動きが要求されるのは一目瞭然で、はっきりとしたレストポイントもあるようには見えない。でも夫は落ち着いていた。確実にプロテクションを決め、ロープを伸ばしていく。集中を切らすことなく登っていることが伝わってくる。私の方が自然とビレイをする手に力が入ってしまい、慌てて深呼吸をした。終了点へたどり着いた夫は次のピッチへと駒を進めた。

次の12 aのパワフルなピッチも、そして12 bの核心ピッチも、ダメ押しの最終ピッチも、フォローする私は唸り声とともに、何度もロープにぶら下がってしまった。ルート自体の難しさだけでなく、トラッドクライミング特有の駆け引きや、パンプしていく中での精神面のコントロールを考えるだけで、私には到底オンサイトできないルートだと痛感した。

マルチピッチのオンサイトトライは特別だと思う。1 p登れても緩むことのない緊張感が続き、集中を切

らすことなく登り続ける大変さが終わりまで続く。「気持ちの強さ」それはどんなクライミングにとっても大切なことだと思うが、マルチピッチのオンサイトトライにとっても、成功を左右する大事な要素だとつくづく感じた。そういう意味で、今日は良い緊張感が途切れることなく続き、「登る!」という強い思いに満ちた素晴らしい一日となった。

山頂は素晴らしい景色に囲まれ、穏やかだった。雲ひとつない青空のもと、大の字になって寝転ぶ夫。一生に一度あるかないかの会心のクライミングだったと、夫は言った。素晴らしいクライミングを共有することができ、私もこれ以上ない満ち足りた気持ちになった。そして、私も、と思わずにはいられなかった。いつも私に大きな刺激と勇気、そしてクライミングの指針を示してくれる夫に感謝したい。

唯、岩と自分だけ。純粋にまっすぐクライミングと向き合えることができたニードルズ。また強くなってここに戻ってきたい。

## 令和2年度後期海外登山奨励金交付登山隊

日本山岳・スポーツクライミング協会では、海外登山の振興と技術の普及、向上を目的として、海外登山奨励金制度を制定し、斬新、独創的で、多大な成果が期待できる登山計画に対し、奨励金を交付しています。

今期(令和3年3月～令和3年8月出発予定の隊)は、2隊の応募がありました。厳正な審査の結果、下記の通り奨励金を交付することを決定いたしました。

記

### 2021 Gasherbrum VI 遠征隊

期 間：2021年6月15日～7月31日

隊 員：高柳 傑(32)、鈴木雄大(26)、石川貴大(31)

山 域：パキスタン・カラコラム ガッシャーブルム VI峰(7,004m)

内 容：未踏の7,000m峰を南東壁からアルパインスタイルで初登攀を狙う。

評 価：同じ面からもトライされているが、未踏のVI峰に目を付けたのは悪くない。唯、南東面と言う事で、雪の状態によっては苦勞することが想像される。メンバーの高所経験は豊富とは言えないが、コロナ禍の中でも意欲を持ち続け、計画を出して来る情熱は評価できる。

日程が少しタイトなのが気になる。時期的にコロナ



ガッシャーブルムVI峰(右奥)

が終息しているとも思えず、都市部に長居したくない気持ちはわかるが、3日でイスラマバードの登山準備は終わるのだろうか。フライトキャンセルになった場合、陸路で行くことになる。1週間でBCに入るのは厳しい。年齢的に若いからベース入りは大丈夫かもしれないが、其処から上のタクティクスに影響が出る可能性もある。

BC(5,150m)からいきなり取り付きで、1,850mのアップ。高度順化にはもう少し慎重になるべきではと思う。順応期間を取っているが、何処で順化活動するかは示されていない。ゴンドゴロ峠も時期的に早いかも知れない。過去のカラコラム方面の登山隊から学ぶべきことは多いので、記録を調べ、参考にすべきではないかと思う。

交付額：30万円



## Giri Giri Boys K7 Expedition 2021

期 間：2021年7月15日～8月23日

隊 員：横山勝丘 (42)、鳴海玄希 (38)

山 域：パキスタン・カラコラム K7中央峰(6,858m)

内 容：K7中央峰は、K7山群の中央に位置し、どの面からもアクセスは容易ではない。長いアプローチに加え、標高6,500m地点からは、垂直に近いヘッドウォールが控え、登頂を困難なものにしている。これまでに培った高所登山とアルパインロッククライミングの能力を集中し、アルパインスタイルでの初登頂を目指す。

評 価：横山隊長のK7は、2014年、2017年に次いで3度目。だからこそ出てくる計画であろう。前回のクライミングも素晴らしいものだったと思う。地道にクライミングを追求する彼らを応援したい。彼らのクライミング・スタイルは困難だが危険は最小限にとどめていると思う。2017年のK7西峰南西稜初縦走のク



K7中央峰

ライミングは困難で地味だったが…このようなクライミングを評価し続けたい。

唯一不安材料は、推測だが北面のプラトー側からヘッドウォールのルートが確定されていないのではないかと推察する。

交付額：40万円



K2東面

### クライミング医科学セミナーのお知らせ

この度、スポーツクライミング医科学委員会主催のオンラインセミナーを開催することとなりました。当委員会ではすべてのクライマーが生涯にわたって健全にクライミングを楽しむことを願っています。本セミナーがその一助となるよう企画いたしました。コロナ禍で大変な時期ではありますが、この機会に是非ご参加ください。

主 催：スポーツクライミング医科学委員会

開 催 日：2021年2月27日(土) 13:00～17:00

対 象：一般

参 加 費：無料

定 員：先着80名

開催様式：Zoom

申 込：専用フォームより登録

申込期間：2021年2月1日(月) 7:00～2月17日(水) 17:00

申込フォーム：<https://forms.gle/nEEtCEBvpYKG3jNc6>

内容・講師 ①クライマーとCOVID-19～ワクチンとこれからの世界～  
②コロナ禍だからこそ意識してほしいスキンケア  
③自宅でできるコンディショニング～ストレッチ編～  
④ユースクライマーへの取り組み

竹田 遼  
大森 俊  
丹治信志  
西谷善子

<問合せ先>公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会

E-mail:info@jma-sangaku.or.jp;

# 中期経営計画策定パブリックオピニオン

本協会では、中期経営計画(2021年～2025年)を策定するために本協会を支える全てのステークホルダーの意見を反映すべくパブリックオピニオンのご協力をお願いしました。本協会を「ささえる」層の山岳関連諸団体の皆様にも協力をお願いしました。寄せられたご意見を抜粋して以下に紹介します。

## 1. JMSCAへの提言について

- これからも、国立登山研修所と連携・協力して、わが国の登山の健全発展に努めることが大切。
- JMSCAをネットで検索するとスポーツライミングの内容が多く、しかも上位に出てくる。登山等の情報もスポーツライミングの良いところを真似て発信できないか。
- 海外登山の興味が若い世代に大きく衰退している。これは日本人だけの傾向である。「パイオニアワーク」的登山でないと認められない空気が未だにあるが、ヒマラヤ・トレッキングや個人で手が届く6,000m級のユニークな山々を安価に安全に登れるような情報提供、情報共有が必要。高所医学の知識の伝承が途絶えている。高所登山では何を勉強すれば良いのかをネットで効率的に完結できるようにできないか。メディアからの(登山の価値についての)質問を的確にこたえられる窓口が開設できないか。
- スポーツライミングでは、ジュニア層の育成がかなりできていると思いますが、登山においてはまだ不十分かと思います。子どものころから自然、登山に楽しむ環境をつくっていかればと思います。
- スポーツライミングなど競技性を求めるカテゴリは別として、日々の楽しみのために登山をする一般ユーザーのほうが遥かに人数が多い状況を鑑みれば、その人達を「指導する」という考えではなく、どのようにしたら彼らを「サポートできるか？」と考えることが必要と思われます。
- 雪崩捜索救助協議会の活動に関して、JMSCA加盟団体に対して、協議会活動への参加等を推進していただきたい。

## 2. 各団体で取り組んでいる減遭難対策と山岳団体全体で取り組むべき課題の提案について

- 日本山岳ガイド協会、各都道府県(地域)山岳遭難対策協議会と連携した、安全登山・遭難防止への情報

発信。

- 登山用具店と連携した安全登山の情報発信と講習会の実施。
- 山岳共済保険の充実。
- 山岳登攀とハイキングは全く異なった登山形態・価値観であることを登山者全般に認識してもらうよう啓発活動が必要。ハイキングの延長上に登攀があるのではない。別々の楽しみ方(スポーツ形態)であり、登山ルートや無雪期/積雪期は確実に線引きする必要がある。損害保険は「運動危険割増」という山岳登攀にのみ必要な付加保険料が存在し、10～20倍の保険料になっている。山岳登攀は個人がこのリスクを引き受ける覚悟を確認する必要がある。この啓発は欧州の登山教育に見習うべき。本来ロープが必要な登攀ルートにおいて初心者を含むパーティでロープを使用せず「自己責任」を強要するのは倫理的に間違っている。またロープを使用できるスキルのないパーティが選んではいけないルートや登山時期を明確にする必要がある。「ロープ」を「高度な登山技術と熟練」に置き換えてもよい。山岳登攀にはヒューマニズムに裏付けされたリーダーシップとフォロワーシップが必要。
- 一般登山者向け登山届でシステム「コンパス」の使用により入山と下山が共有できる。登山届を作成する段階で、登山計画の客観的把握が可能となる。登山届は、自治体、警察と情報共有が可能となっている。<https://www.mt-compass.com/>
- 登山月報619号の青山先生の報告によると、長野県では2012年より、深刻な事故を減らし、連続的に安全側にシフトしているということです。2012年というのは、長野県山岳協会が山岳総合センターの指定管理を始めた年でもあります。同じ年から良い方向に向かっているということですが、特に何か大きな減遭難対策の手を打ったということはありません。従来よりも講習会の回数を大幅に増やし、できるだけ多くの参加者を得る努力をしてきました。このような地道な努力を一つ一つ積み重ねていくことが回り道の様で一番近道なのかもしれません。長野県山岳総合センターが作成した「信州 山のグレーディング」は、減遭難対策のひとつにはなっていると思います。
- 雪崩専門団体としてお願いしたいことは、山岳の積

雪情報の収集集約にご協力を頂き、それをもってして、現在の雪崩情報の発表地域を拡大したく考えています。雪崩情報は雪山の安全に関わる「社会インフラ」です。シーズンに数回の雪山経験を10年続けても、的確な積雪コンディションの判断はできるようにはなりません。それゆえ、欧米では公的な機関あるいはNPOが、事故を未然に防ぐ事前対策として、また同時に、そのような活動する方をサポートするため、雪崩情報を発表しています。各地域には熱心に山岳に入られている山岳会の方々がいらっしゃいますが、そのような地域のパワーが現在、ほとんど生かされておられません。過去30年間における山岳での雪崩死者の半数が組織登山者であることを踏まえ、ぜひご検討頂ければ幸いです。

### 3. 山岳組織に加入する登山者の減少傾向に対して、JMSCAと協働して歯止めをかける運動・事業等の提言について

- 高齢化に対応する取り組みとしては、「山岳文化活動」に参加してもらうことと、「健康登山」に参加してもらうことを提案している。当会では2025年の120周年に向けて、「山岳古道踏査」プロジェクトを企画している。若年層に対してはYOUTH CLUBにて「学生部」、「青年部」、「WV部」でそれぞれ活動し、若い会員の受け皿になっている。しかしながら当会は登山サービスを提供する機能は有しておらず、運営がなかなか難しい。
- スポーツライミングでは、ジュニア層の育成がかなりできていると思いますが、登山においてはまだ不十分かと思えます。子どものころから自然、登山に楽しむ環境をつくっていただければと思います。
- 地道なことを一つ一つ実行していくしか方法はないかと思えます。特効薬的なものを期待することは無理です。

### 4. 山岳4団体が今後果たさなければならない課題等について

- これからも、国立登山研修所と連携・協力して、わが国の登山の健全発展に努めることが大切。  
新規事業として(思いつきだが)①日本山岳ガイド協会と連携し研修会、講習会を開催②山岳共済保険の充実等を検討
- 当会では「登山の歴史や伝統、多様な登山文化を尊重し、発展させる」、「自然保護精神の啓発と実践」、「遭難防止活動」、「支部活性化」の4つの柱を基本と

した活動を行っております。特に「支部活性化」には登山者の高齢化や未組織登山者の増加等問題が内在しており、重点課題となっています。

- 安全登山の普及啓発、登山環境の保全(自然環境の保全、登山道の整備。登山道標などの統一化。登山者の一定地域からの分散。オーバーユースの防止の啓発)の提言。

### 5. 山岳団体が力を合わせて取り組める山岳自然保護活動への提案について

- 森づくり活動が支部活性化の原動力になりつつある。高尾の森、猿投の森の成功例に触発されて、各支部で検討され始めている。地元行政との協力体制を得ることができればたいへん有効な自然保護活動となりえる。トレランについては過去の理事会で当会では大会等について協力しない旨決定した。自然保護活動と相反する活動であり受け入れることはできない、ただし個人で楽しむものを否定するものではない。
- 自然の美しさやすばらしさ、偉大さを知ることが、自然保護活動への第一歩になると思います。ぜひそのような機会をもってもらおう努力が必要かと思えます。

### 6. 5年後のJMSCAのあるべき姿、運営形態について

- これまで経験したことのない「オリンピックでの経験」を生かし、オリンピック後に検討したほうが良い。
- 中高生がインドアクライミングジムにて安価に指導を受けられる仕組み(学校の課外授業等)があると、将来の登山やスポーツライミングへの興味が増すのでは。学校登山の文化が絶えている。引率教師やボランティアの法的な責任を軽減できないか?プロのガイドなどに責任を持たせて学校が責任追及されないような方法で実行できないか。せめて校歌に歌われる山ぐらいは全校生徒が1年に一度程度その山へ学校で登山を行うのが望ましい。学校登山の目的は「鍛錬」ではない。そして登山や自然保護への理解を少しでも深めて将来の登山愛好家を育てる必要がある。そのためには汗をかく登山だけでなく、地元の文化についての知識を学ぶ機会を作ってほしい。NHK番組の「ブラタモリ」がヒントになるかもしれない。
- 登山とスポーツライミングの分離という方向もありかと思えます。

## 2021年度公認審判員およびルートセッター資格の登録更新に関する特別措置について

昨今の新型コロナウイルスの感染拡大状況に鑑み、公認審判員及びルートセッター資格の2021年度の登録更新については、本年度に限り、「スポーツライミング競技審判員規程」第4条及び「スポーツライミング公認ルートセッター規程」第4条の義務研修会参加義務を免除して同規程第7条の登録更新ができることとします。

また、既に2020年度内に義務研修会を受講した方については、同規程第4条にかかわらず、その受講をもって2022年度の登録更新ができることとします。

尚、これらの特別措置は、各年度の登録手続きおよび登録料の免除ではありませんので、各年度で所定の手続きを行い、登録料の納入をお済ませください。

※2021年度の登録更新については、「マイページ」より手続き可能となっております。(登録料の支払いは3月1日以降)

※本件に係る通知の発出後、2020年度内に実施される義務研修会に参加した方も「既に2020年度内に義務研修会を受講した方」と同様に、その受講をもって2022年度の登録更新ができることとします。

## CLIMB FOR TOMORROW 2020

—スポーツライミング日本代表  
新型コロナウイルス感染症対策支援プロジェクト—

本協会のアスリート委員会では、一日でも早く世界の仲間と共に競技できる日が来ることを願い、新型コロナウイルス感染症対策に従事している方々のために何かできることはないかと考え、支援活動として「Climb for Tomorrow 2020プロジェクト」立ち上げました。

新型コロナウイルス感染症対策のための支援金を応援購入サービス「Makuake」で募集しましたところ2020年10月30日～2020年12月29日の間に119名様から2,054,000円の支援金が集まりました。ご協力、誠に有難うございました。今後、リターン制作費・送料・手数料などの実費を差し引いた金額をWHO新型コロナウイルス感染症連帯対応募金に寄附させていただきます。

## スポーツライミング競技会スケジュール

### ◆第3回スピードジャパンカップ兼第1回スピードユース日本選手権亀岡大会

期日 2021年3月6日(土)

会場 グリビティリサーチ サンガスタジアム  
by KYOCERA (京都府亀岡市)

### ◆第34回リードジャパンカップ

期日 2021年3月26日(金)～28日(日)

会場 松山下公園総合体育館(千葉市印西市)

### ◆第7回ボルダリングユース日本選手権鳥取大会

期日 2021年4月24日(土)～25日(日)

会場 県立倉吉体育文化会館(鳥取県倉吉市)

## 創立60周年記念出版

### 『UIAA総合登山技術ハンドブッカー夏季アルパイン』 日本語版 好評発売中!

創立60周年記念事業として国際山岳連盟(UIAA)とペツル財団著作の『Alpine-Skills:Summer』の日本語版(翻訳:大和田英子)を出版しました。

A5サイズ、376頁、全頁カラー、頒価2,200円(税込・送料込み)購入ご希望の方は、下記郵便振替で代金をお振込みください。



郵便振替口座番号: 00110-5-546693

加入者名: (公社) 日本山岳・スポーツライミング協会



令和2年度  
第8回 Web理事会報告

日時: 令和3年1月14日(木)  
14:15～16:45

場所: Web会議

出席者: 八木原会長、亀山、平山、丸各副会長、尾形専務理事、小野寺、水島、合田各常務理事、相良、蛭田、町田、村岡、村上、山口、水村、前田、六角、唐木、古賀、山本、古林、小日向、安藤各理事  
中島、古屋各監事

同席者: 安井強化委員長

### 1. 開 会

冒頭、八木原会長から「明日は小正月です。緊急事態宣言で大変ですが、温かくなれば今回の措置の効果がでて収まることを期待します。今年は役員改選があります。オンライン会議でなかなか思うように進められませんが、皆さんの協力を得て進めていきたいと思います。」と挨拶。

事務局長から理事23名、監事2名の出席と安井強化委員長の同席が確認され、事務局長がオンライン会議のホストを務めて議事に入った。

### 2. 議 題

(1)議案第1号 議事録の承認について  
2020年度第7回理事会議事録の承認について(事前送付済)  
異議なく承認された。

(2)議案第2号 緊急事態宣言下の山岳4団体共同声明の発出及び研修会、大会等の開催について

最初に村岡理事から2週間後に迫った第16回BJCについて資料に基づき説明があった。感染防止対策等を十分に行い、予定通り開催したいとのこと。それに対して医学的見地から開催延期の意見があった。参加選手の状況・心理・意識についても確認がなされた。行政指導により参加できなくなった選手の配慮についても確認がなされた。

続いて感染防止対策等の諸条件を満たす努力をしたうえでの開催可否について採決に入った。結果として賛成19、反対3(丸副会長、六角理事、蛭田理事)、棄権0で、第16回BJCは1月30日～31

日に開催することが承認された。PCR検査を行うかどうかについては検討することになった。(その後PCR検査をすることになった。)

次に第34回LJC開催に話が移り、これも各種意見が出たが、現段階の条件では、ということで3月26日(金)～28日(日)に延期することが承認された。以上の結果を踏まえて、山岳4団体の共同声明の呼びかけはしないことになった。

1月23日(土)～24日(日)に予定されているJSPPOからの委嘱事業で、JMSCAが東京都山岳連盟に委嘱した公認スポーツ指導者コーチ1養成講習会の開催については、常務理事会の決議通り、先ずJSPPOに確認することになった。

(3)議案第3号 日本グランプリ候補者の推薦について

該当者無しで、推薦は見送られた。

(4)議案第4号 令和4年勲章及び褒章候補の推薦について

該当者無しで、推薦は見送られた。

(5)議案第5号 指導員認定について

指導委員会から提案があった下記の方々の認定が承認された。

ア)主任検定員の認定

①新規受講者：新原祐治(宮崎)

②更新受講者：坂口仁治(山口)、寺崎良夫(福岡)、以上3名

イ)JMSCA公認夏山リーダー資格の認定(神奈川県にて開催)

長谷川誠二、伊藤拓美、諸岡功一、神谷敏裕、水谷公洋、石川由佳子、種田理恵、吉川宏道、瀬川宏、以上9名

ウ)SCコーチ1認定

①長野県山岳協会(以下2名)

京屋 仁、堀本昌利

②福岡県山岳連盟(以下6名)

赤瀬恵三、大塚佐恵子、富久勝司、三浦隆太、三重野敦、宮原敏明

### 3. 報告

(1)報告第1号 12月度月次会計報告

相良理事より資料に基づいて報告があった。

(2)報告第2号 中期計画PT途中経緯について

亀山副会長よりパブリックオピニオンの回答を頂いた団体名・委員会名・コーチについて報告があった。

(3)報告第3号 CAS判断説明について

合田常務理事から現状について報告があった。IFSCとは早めに話し合いを持ち、元の状態に戻すことが確認された。

(4)報告第4号 国内旅行傷害保険包括契約について

尾形専務理事から説明があった。ガバナンス委員会で、共催事業の責任問題について協議して貰ったが、やはり難しいとの見解であった。

そこで、再度、損保会社に本協会の加盟団体の主催事業について国内旅行傷害保険の包括契約を結べないかを交渉した結果、本協会が付保を希望する加盟団体の主催事業をきちんと把握できるのであれば締結可能との回答を得た。

2月の全国理事長会議において「加盟団体の事業計画に基づいて包括保険の付保ができる」旨を提案する。

(5)報告第5号 第3回CJC報告について

村岡理事から資料に基づき報告があった。

(6)報告第6号 創立60周年記念特別功労表彰者

小野寺常務理事から提案資料に基づき報告があった。前回より少し表彰者が増えた。

感謝状贈呈については八海醸造が追加された。

(7)報告第7号 次期役員候補者推薦依頼について

尾形専務理事から資料に基づいて報告があった。次期役員候補者の推薦について

は、ガバナンスコードを踏まえた推薦依頼が望ましいとの意見があった。

(8)報告第8号 福井岳連からの後援依頼の承認について

小野寺常務理事から資料に基づいて報告があった。

(9)報告第9号 岡山岳連からの要望書(ブロック別研修会)について

年に1度の審判員研修が登録更新の義務になっているが、コロナ禍の時期でもありガバナンス委員会で特例措置を検討し、1月末までに要望書の回答をまとめることになった。長野県山岳協会からも同様の要請があった。

(10)報告第10号 2021年スポーツクライミング国際競技大会派遣選考基準について

合田常務理事から報告があった。

(11)報告第11号 第2期JMSCAパリオリンピック強化選手選考について

合田常務理事から報告があった。古林理事から補足があった。

(12)報告第12号 第1期JMSCAパリオリンピック強化選手の承認について

合田常務理事から報告があった。

(13)報告第13号 2021年IFSC役員/委員立候補者推薦について

小野寺常務理事より説明があった。資料に基づきスポーツクライミングのNFとしてIFSC等への立候補者を推薦することの報告であった。

立候補者は、IFSC副会長・小日向徹、コーチ委員会・西谷善子、倫理委員会・星多賀子、ACC副会長・水村信二。

(14)報告第14号 2020年度後期海外登山奨励金交付登山隊の選考について

選考委員会から以下の2隊について答申があり、常務理事会で承認されたと報告があった。

①2021 ガッシャーブルムVI峰登山隊(交付額30万円)

②Giri Giri Boys K7 中央峰 Expedition 2021(交付額40万円)

(15)報告第15号 強化委員会ブロック代表コーチ等報告

古林理事から資料に基づいて報告があった。

### 4. 役員派遣について

(1月15日(金)～2月15日(月))

(1)IFSC打ち合わせ 1月16日(土)～21日(木) 於：ローザンヌ 小日向理事

(2)国立登山研修所専門調査委員会 1月18日(日) 於：オンライン

尾形専務理事

(3)令和3年度外務省スポーツ外交推進事業説明会 1月19日(火) 於：オンライン

小野寺常務理事、水村理事

(4)JOC 第2回専務理事会議

1月21日(木) 於：Web 尾形専務理事

(5)第16回ボルダリングジャパンカップ

1月30日(土)～31日(日) 於：駒沢オリンピック公園屋内球技場 八木原会長他

(6)JOC評議委員会 2月3日(水)

於：JSOSビル14F 八木原会長

(7)ジュニア・普及情報交換会 2月13日(土)

於：オンライン 八木原会長他

(8)全国理事長会議 2月14日(日)

於：オンライン 八木原会長他

## 寄贈図書

会 報	(公財)全国高等学校体育連盟	全国高体連ジャーナル 2020 Vol.40
	日本山岳遺産基金	日本山岳遺産基金通信 2020 No.018
	(公財)健康・体力づくり事業財団	「健康づくり」No.513 202101
	(特非)日本トレーニング指導者協会	「JATI EXPRESS」Vol.80
	兵庫県山岳連盟	「兵庫山岳」第642号
	福岡山の會	「せふり」No.402
	中華民国山岳協會	「中華山岳」<雙月間> 279
	日本ヒマラヤ協會	「HIMALAYA」No.495
	おいらく山岳会	「山行手帖」No.733
	(公財)日本スポーツ協会	「Sport Japan」Vol.53
	NPO法人富士山測候所を活用する会	「芙蓉の新風」会報 Vol.15
	(公社)日本武術太極拳連盟	「武術太極拳」2021年1月 No.373
	日本勤労者山岳連盟	「登山時報」2月号 No.552
	愛知県山岳連盟	「愛知岳連ニュース」第439号
	(一社)大阪府山岳連盟	「山岳おおさか」No.226
	東京野歩路会	「山嶺」Vol.98 No.1091
	(公社)日本山岳会	「山」2020年1月号 No.908
	日本山岳写真協会	「日本山岳写真協会ニュース」1月号 第479号
	おいらく山岳会	「山行手帖」No.734
	新潟県山岳協会	「新山協ニュース」第352号
機関誌	(公財)日本スポーツ協会	「JSPPOスポーツニュース」「JSPPOフェアプレイニュース」Vol.125
	(株)山と溪谷社	「山と溪谷」2月号 No.1031
雑 誌	(株)ネイチュアエンタープライズ	「岳人」2月号 No.884
	Vertical-Life	「ROUTE SETTER」Route Setter Magazine #3 2020/2021
新 聞	スポーツこころのプロジェクト運営本部	「スポーツこころのプロジェクト新聞(スポここ)」2020年度 第26号、第27号
	(株)日本運動具新報社	「スポーツ産業新報」第2312号、第2313号、第2314号

**JMSCA 60周年募金協力者ご芳名**  
 (2021年1月31日現在、敬称略)  
 8口：福田博明、3口：森宇征、  
 2口：杉崎博、横山哲  
 (総額：1,214口 6,070,000円)

想像をはるかに超える“保温力”  
**超肌着力**

表紙のこぼれ

チョング・クムダン氷河は、マモストーン・カンリ山群とチョング・クムダン山群の間に約12kmの長さで横たわり、舌端からアッパー・シャイヨーク河へと注ぐ。東部カラコルムのマモストーン・カンリ山塊の東部を流れるアッパー・シャイヨーク河は、インダス河の遙かなる源流の一つである。  
 1907年、中国・新疆省の踏査を終えた日野強少佐は、遠くヤルカンドからカラコルム峠を超え、アッパー・シャイヨーク河を渡り、サセル峠を越え、ラダックから英国領スリナガルへと達した。明治期の壮大なロマンを感じる。

(写真撮影者 尾形好雄)

**トレランJAPAN**  
 一般財団法人 日本トレイルランニング協会  
 〒141-0031  
 品川区西五反田6-3-23-205  
 ☎03-3492-0355 FAX 03-6451-3767

編集後記

2月入って太陽の光が強く感じられ、伊豆河津桜の便りも聞こえてきた。本誌今月号にJMSCA中期経営計画(2021年～2025年)を策定する為にお願したPOの一部が掲載された。JMSCAを富士山に例えるなら各方面からはどの様に見えるのか? 立ち姿からどの様なオーラが出ているのか、いないのか、など寄せていただいた意見を反映した中期計画が策定されるでしょう。

(広報担当 水島彰治)

登山月報 第623号  
 定価 110円(送料別)  
 予約年間 1,300円(送料共)  
 昭和45年12月12日  
 第三種郵便物認可  
 (毎月1回15日発行)  
 発行日 令和3年2月15日  
 発行者 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号  
 Japan Sport Olympic Square 807  
 公益社団法人  
 日本山岳・スポーツクライミング協会  
 電話 03-5843-1631  
 F A X 03-5843-1635

山岳雑誌 **岳人**  
 山と人、時代をつなぐ「岳人」

【特集】山の謎③ 鬼の棲む山  
 ★モンベルのウェブサイト  
 全国のモンベルストアや書店にて発売中!  
 毎月15日発売 価格968円(税込)

**3月号** 発売中

**年間購読がおすすすめです。**

購読割引 送料無料 限定品プレゼント  
 年間購読なら、お得な価格で毎月お手元に冊子が届きます。

通常価格 12冊	年間購読なら 12冊	1冊分おトク!
<del>10,560円</del> (税別)	<b>9,680円</b> (税別)	
11,616円(税込)	10,648円(税込)	

**年間購読特典**

A4サイズが入る!  
**岳人 トートバッグ**  
 丈夫なコットン製でマイバッグとしても重宝します。  
 ▶サイズ:幅36×高さ37×高さ11cm

全国1,800カ所以上でご優待!  
**岳人カード**  
 全国の温泉や山小屋など提携施設でさまざまなご優待が受けられるカードです。

年間購読のお申し込みはこちらから! >>>  
<https://www.gakujin.jp/>

全国のモンベルストアでも受付中!

お問い合わせ  
 モンベルポスト ☎0120-982-682 / TEL 06-6538-5797  
※フリーコールは携帯・IP電話からはご利用いただけません。

# SDGsで、未来をつなぐ

三井住友海上は、安心と安全の提供を通じて、持続可能な社会の実現に取り組みます



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### SDGs (Sustainable Development Goals)とは

2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた包括的で持続可能な社会の構築を目指す「持続可能な開発目標」のことです。

持続可能な地球環境		安心して暮らせる社会		活力のある経済活動	
関連する主なSDGs	主な取組	関連する主なSDGs	主な取組	関連する主なSDGs	主な取組
12, 13, 14, 15	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギーの普及支援</li> <li>自然災害リスクモデルにもとづくコンサルティング</li> </ul>	1, 2, 3, 4, 5, 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりの支援</li> <li>先進技術を活用した利便性の高いお客さま対応</li> </ul>	7, 8, 9, 10, 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代モビリティ社会への対応(自動運転車等)</li> <li>災害に強いまちづくりの支援</li> </ul>

立ちどまらない保険。

**MS&AD** 三井住友海上

三井住友海上は、レジリエントでサステナブルな社会\*をめざします。

\*外部環境にしなやかに対応する、持続可能な社会



# 登山者のマナー 山岳保険

あなたのは山岳保険ですか？

- 傷害死亡・後遺障害     遭難捜索費用     救援者費用  
 傷害入院     傷害通院     傷害手術     日常生活賠償

日山協 山岳共済会

〒170-0013東京都豊島区東池袋3-7-11-707

TEL 03-5958-3396    FAX 03-5958-3397

E-mail sangakukyousai@mbd.ocn.ne.jp

月曜日～金曜日 10:00～17:00 (祝日除く)

携帯からも資料請求ができます。  
<https://sangakukyousai.jp>



WEBからもお申込みいただけます